

平成27年度コア・ティーチャー育成事業 第1回拠点校研修（公開授業）

平成26年度から外国語教育コア・スクールの指定を受け、小中が連携し外国語活動・英語の授業の在り方を研究、実践している羽根小学校、羽根中学校で先日公開授業が行われました。

羽根小学校 5年生(H27.6.17)

6月17日（火）に、コア・ティーチャーの田川真由美教諭による5年生の公開授業が行われました。
 “Let’s start English!”と教室中に響く大きく元気な声で授業が始まりました。ゴールのコミュニケーション活動へつながるように、“Do you like - ?” “Yes, I do.” “No, I don’t.”の表現をチャンツでリズムに乗りながら言ったり、ペアやグループ活動を通して言い慣れたり様々活動で構成されていました。子ども一人ひとりが楽しく、生き生きと英語を使って活動していたのが印象的でした。学級担任でもある田川教諭が、クラスルームイングリッシュを積極的に使ったり、英語でALTと会話している姿を示したりとコミュニケーションを図るモデルとなっていました。そして、子どもをよく理解している担任だからこそ、子ども同士の気持ちのよい関わりができるよう配慮された授業でした。



ペアやグループなど様々な形態で、子ども同士の交流を大切にしています。



担任の先生がALTと仲良く話してる姿が、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとするモデルになっています。

羽根中学校 2年生 (H27.7.9)

7月9日（火）に、コア・ティーチャーの那須磨知子教諭による2年生の公開授業が行われました。
 那須教諭は、3年間のCAN-DOリスト形式の学習到達目標を設定しています。それを基に授業では、目標に合った言語活動、目標を達成するための手立てなどが計画的に構成されたものとなっていました。ウォームアップとして1年生から継続されているQ&Aでは、生徒のみなさんのスピーディーなやり取りに、参加された先生方も感心されていました。また、本時のゴール「自分がなりたい職業について理由や目的も含めて書くことができる」を全員の生徒が達成するために、ABCDフォーマットを活用しながら自己表現へつなげるというものでした。那須教諭の授業は、教師が「英語を教える」ではなく、生徒が「英語を使って何が出来るか」を意識された授業でした。

辞書を積極的に活用しています！



Key Wordのみで、自己表現活動(スピーキング)を行っています。



【研究協議】～参加者の声～

担任の先生が英語を使おうとするモデルとなり、積極的に英語を使っている姿勢を見習いたいです。

使えるようになりたいフレーズを、自然と何度も使うことができる活動が参考になりました。

CAN-DOリストに基づく授業づくりをしていかなければならないと感じました。

生徒の言語活動のスピーディーさ、多様さは大変勉強になりました。

‘ゲームによる楽しさ’でなく、互いのことを‘伝え合う楽しさ’が味わえる外国語活動の在り方を感じることができました。



ABCDフォーマットで、スモールステップの英作文、ぜひ取り入れたいです。



仲間づくりがしっかりとした優しさがある学級を基盤に、外国語活動がなされて

担任とALTが活動例を紹介したり、関わり方を示したりとそれぞれの役割について参考になりました。

生徒がとても生き生きとしていました。「生徒中心の授業」を参考にさせていただきます。

単元ゴールを具体的に提示され、全員が到達できる手立てが素晴らしいです！

第2回公開授業のお知らせ

☆羽根小 11月17日(火)
 ☆羽根中 12月 8日(火)

コア・ティーチャーによる公開授業は、すぐに実践で使える活動や効果的な指導法など、役立つ情報が詰まっています。多数の先生方のご参加をお待ちしています！

